



学校教育目標：笑顔いっぱい 楽しく学ぶ 鍋島っ子の育成

なべしまっ子

学校便り 7号

令和7年11月11日

児童数 721名

文責 井原 竹始

5年生自然教室

5年生は、10月7日～8日に1泊2日の日程で、北山少年自然の家で自然教室を実施しました。5年生の学年目標「進んで行動！仲間と協力し、成長し合う5年生」を達成するために、今回は、「5分前行動」、「責任をもって」、「感謝の気持ち」の3つを合言葉に活動を行いました。

学校とは違う環境の中で、子どもたち一人一人がしっかりと考え、班の友達と協力しながら活動に取り組むことができていました。1日目のフィールドビンゴでは、みんなで協力しながらチェックポイントを探し、問題に答えている姿が見られました。長い距離を歩くので、疲れている子もいましたが、「少し休憩しようか？」と優しく声掛けをしている子もいて、温かい気持ちになりました。夜のキャンドルの集いでは、それぞれの班が誓いの言葉を述べ、今回の自然教室を通して成長したいという思いもっているのが分かりました。2部では、1部の厳かな雰囲気とは違い、全員でクイズやゲームを楽しむことができていました。

2日目の野外炊飯（焼きそば作り）では、子どもたちが一人では解決することができずに困っている姿が見られました。なかなか火が付かず苦戦していたり、材料を入れる順番が分からずに困っていたり、鉄板の焦げが取れずに困っていたり、窯の片付けに苦戦していたり……。そのような場面を、いかにして解決するかが今回の大きなテーマでした。自分から助けを求める子、困っているのに気付き手伝いに行く子の姿が見られ、自分たちで何とかしようとする頑張りができていました。

「5分前行動」、「責任をもって」、「感謝の気持ち」を意識しながら多くの子が活動できていたことは大きな成果だと思います。自分だけではなく、班の友達のこと、全体のことを考えて活動する大切さを感じながら過ごすことができた1泊2日となりました。

バルーン係留体験・バーナー体験

10月10日（金）に、1～3年生を対象に、バルーン係留体験・バーナー体験がありました。これは、市内の小学生に「空飛ぶ感動を」また「バルーンのまち」の意識醸成を目的として、市内の全小学校を対象とした係留体験搭乗“空飛ぶ体験あたりまえ化計画”として行われたものです。本校からはバルーンが飛んでいるのはよく見えるので、子どもたちも見るのは自然なことのようにですが、乗るとなると別です。登校時校門で「今日バルーンに乗れるんだよね」と私に確認する子どももいました。朝の時間は、バルーンが膨らむのを教室から見て、わくわくしながら待っているようでした。

風が強いとバルーンの係留はできないので心配していましたが、無事に係留が始まり、子どもたちが次々に空に浮かび嬉しそうな表情を見せてくれました。搭乗した子どもたちは、「高かった」「遠くまで見えたよ」「ちょっと怖かった」「バーナーの音が大きかった」など思い思いの感想を述べていました。しかし、ちょっと残念なことに3分の1ぐらいの子どもたちが搭乗した後、風が強くなり、係留はできなくなり、バーナー体験へと切り替えられました。搭乗できなかった子どもたちは残念がっていましたが、バーナー体験も初めてのことであったので、それを楽しむことができていました。

4～6年生も今年度中に実施する予定です。（まだ、詳しい日程は決まっていません）



音楽きらい集会～子どもたちが輝いていました

10月15日、16日、22日の3日間、昼休みに体育館で音楽きらい集会が行われました。放送・音楽委員会が企画、運営をし、きらいを紹介し合い、認め合う場となりました。

放送・音楽委員会が全校に呼びかけ、音楽に関すること(歌、楽器の演奏、ダンス等)を、みんなの前で披露したい人を募集したところ、たくさん子どもたちが参加しました。得意な歌や演奏、ダンスを披露している子どもたちはとにかく生き生きとしていました。みんなの前で自分を表現できる子どもたちは素晴らしいです。また、友達のきらい発表をたくさん子どもたちが観に来ていました。友達のきらいを自然に認め、一緒に楽しめる子どもたちも素晴らしいです。

互いのよさを認め合い、共に高め合うことができる集団であれば、どの子も過ごしやすいはずです。今回の音楽きらい集会は、鍋島小学校がそのような集団に向かっている証だと感じました。



プレハブ校舎解体進む

プレハブ校舎から新しくなった北校舎に引っ越しをし、1カ月以上がたちました。プレハブ校舎の解体工事は順調に進み、フェンスもなくなり、運動場の整地に入っています。フェンスが外れただけで、運動場が広く見えます。11月中には、広い運動場が使えるそうです。

「運動場全部いつから使えますか」と尋ねてくる子どもがいて、子どもたちも楽しみにしているようです。工事関係者の皆様が、安全第一に考えて工事を進めてくださっていることに感謝です。



高齢者疑似体験～貴重な体験となりました

3年生は、総合的な学習の時間に、「福祉」について学習をしています。その中の1つとして、10月30日(木)に高齢者疑似体験を行いました。高齢になってくると、体が思うように動かず、階段の上り下りが難しかったり、ペットボトルのキャップがうまく開けられなかったり、視力が落ちて見えにくくなったり、水をコップに注ぐのが難しかったりと、今の3年生では想像することが難しいことを体験しました。また、車椅子の操作の仕方や目が見えない人の誘導の仕方なども丁寧に教えてもらいながら、その難しさも感じていました。今回の体験が、いろいろな立場に立って考え、行動できるきっかけになってくれればと思います。

